



発行日 令和5年8月発行 第111号
 発行元 社会医療法人 昴和会 内山病院 編集委員会
 連絡先 鹿児島県阿久根市高松町2番地
 TEL:0996-73-1551
 FAX:0996-73-4636
 Homepage <http://www.uchimt.com/>
 E-mail uchimt@uchimt.com



巻 頭 言

巻頭言・・・P1～2	診療一口メモ・・・P2
部署紹介・・・P2	行事紹介・・・P2
委員会活動・・・P3	編集後記・・・P4

サービス付き高齢者向け住宅 悠和の里

管理者 有村 真紀子



雨に映える紫陽花に風情を感じます。今日は、悠和の里苑庭に咲き誇る紫陽花は、梅雨の中休みによる貴重な梅雨晴れにて鮮やかに彩られておりこちらもまた、今の時季しか感じることでできない景観に風情を感じ、心とみえます。また、梅雨の合間の貴重な晴れ間はうれしいものです。この貴重な梅雨晴れを利用しご入居者の方々と一緒に苑庭にて紫陽花散歩・撮影会を行い、梅雨晴れを楽しみました。あじさいの花と共にご入居者の笑顔の花も鮮やかに咲き誇っていました。

新型コロナウイルス感染症が2020年1月上旬に国内で初めて確認され、パンデミックが宣言された2ヶ月後の3月以降、私達の日常生活に大きな影響を及ぼし入居生活も同様、長期間に渡り制限ある生活を強いられてきました。そして、今年5月8日、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが5類感染症へと移行しましたが、WHOは「国際的な健康への脅威が終了したわけではなく、長期的な管理を行っていく段階になったと判断されたものであり、パンデミック自体の終了を意味するものでない」と述べ、政府としても「行政がさまざま要請・関与をしていく仕組みから個人選択を尊重し、自主的な取り組みを基本とする対応に転換することとした」と説明がありました。一日も早く収束から終息する事が願いではありますが、現状を受け入れ今後も新型コロナウイルスと共存し冒頭のようにご入居者の方々が少しでも生活の中に“楽しみを感じ”笑顔の花が多く咲き誇りますように、ご入居者本意のケアを施していきたいものです。

さて、来年2024年度は介護報酬改定の年であり介護報酬と診療報酬、障害福祉サービス等報酬の改定が同時に行われる同時改定の年でもあります。次期改定の課題と方向性の一つとして、団塊の世代が全て75歳以上となる「ポスト2025年」を見据え、人材の確保が喫緊の課題としてあげられています。悠和の里はこれまでの8年程、介護職の離職（定年退職以外）はありませんでしたが、昨年度末から今年度初めにかけて家庭の事情により、4名の職員が離職されました。各々の事情によりシフトの調整を行い職員の定着をこれまで図ってまいりましたが、家庭事情の変化によりやむなく離職に至っています。2040年問題では、高齢者人口がピークを迎え医療・介護の複合的ニーズが高まる一方、少子化により支え手の減少に直面する事が見込まれています。限りある



人材等で増大する医療・介護ニーズを支えていくためそして、ポスト 2025 年の医療・介護提供体制の 3 本柱の一つである「適切な医療・介護を効果的・効率的に受ける事ができる」ためには、人材確保が喫緊であると既に感じています。職員各々家庭事情は、異なります。職員の生活背景を可能な範囲内で考慮し、職員定着が図れますように努めてまいりたいと思います。また、やむなく今は離職する事になってしまいましたが、状況に変化があった場合、再度、昴和会で働きたい、悠和の里で働きたいと思って頂けるような離職される際の働きかけも大切であり、人材確保対策の一つではと感じている昨今です。ご入居者が、“笑顔の花”を咲かせられるためにも。

診療一口メモ

「薬について」

内科 向井 浩文

皆さんが服用している薬は、2種類にわけられます。症状をとる薬と病気の予防で服用する薬です。症状をとる薬の代表が解熱剤や鎮痛剤です。この薬は熱を下げる、痛みと軽減するなどの症状をとってくれます。熱がなくなった、痛みが軽減したら必要がなくなりますので、一時的に服用する薬です。

病気の予防で服用する薬の代表が降圧剤です。血圧が高い状態が続くと脳出血などの病気になりやすくなりますので、それを予防する目的です。予防ですので、症状がでる前の元気な時に服用します。

薬には目的がありますので、それを理解して服用して下さい。

部署紹介

真和苑紹介

倉津 絵美 西原口 靖

小規模介護老人保健施設真和苑は、看護職 5 名、介護職 11 名、理学療法士 1 名、支援相談員 1 名、介護支援専門員 1 名の計 19 名でご利用者のケアをさせていただいています。真和苑はユニットケアとしてゆっくりと個々に合わせた環境で過ごしていただけるように努めています。また、ご利用者の尊厳を尊重し質の高いケアを提供していくことを真和苑の理念としています。日々の生活の中にも行事を取り入れ花見、運動会、敬老会、文化祭等色々行っており、季節を感じていただいております。今後ご利用者の意思を尊重し安全に配慮しながら在宅復帰を念頭において介護及び機能訓練、その他必要な医療看護並びに日常生活の支援を行い、ご利用者が相互に社会的関係を築き自立した日常生活が続けられるようにスタッフ一同努めたいと思います。

行事紹介

昴和苑 紫陽花作り

昴和苑 大塚 順弘

コロナウィルスも 5 類となり、少しずついつもの生活に戻りつつありますが、5 月の行事としてこいのぼり作成を行いました。6 月は紫陽花の絵に塗り絵をし、玄関に紫陽花・カエル・てるてる坊主などを飾り季節感を感じて頂きました。また作成できない利用者様には、スタッフと利用者様で協力・手伝い、楽しく行いました。

委員会活動

栄養管理褥瘡対策委員会

委員長 岡田 操

栄養管理褥瘡対策委員会は、褥瘡の予防、適切な処置を実施できるよう検討することが主な業務の委員会です。専任医師の古郷院長を中心に、薬剤師、栄養士、言語聴覚士、理学療法士、病棟、外来、回生苑、真和苑、訪問看護の構成メンバーで、月1回 定例委員会を開催しています。委員会の中では、有病率、発生率、治癒率の報告、および、褥瘡経過一覧表をもとに、栄養管理、使用薬剤、ADLなどの側面から問題点の検討を行っています。

また、褥瘡に関する電子カルテ上の書類の見直し、変更および褥瘡対策マニュアルに関しても見直し、改訂を行っています。各部署、有病率、発生率の減少、治癒率の増加を目標に活動しています。予防に力を入れ、早期発見、早期治療、悪化させないようケアの充実をはかっています。

個人情報保護法により、早蕨掲載の写真及び名前については本人の同意を得ています。

基本理念

- 1 質の高い思いやりのある医療福祉の実現
- 2 地域に必要とされる医療福祉施設に育成・発展させる

基本方針

- 1 患者の立場に立った高齢者医療介護福祉施設の充実に積極的に寄与する
- 2 プライマリーケアを実践する中で、今までの実績の更なる積み重ねと時代の求めに応じた拡大を目指す
- 3 人材の育成
- 4 経営の安定化・事業の展開
- 5 品質管理（危機管理・安全管理・利用者の満足度向上）

患者の権利

- 1 患者様は、「平等で良質な医療を受ける権利」があります。
- 2 患者様は、「選択と自己決定の権利」があります。
- 3 患者様は、「個人の秘密保持・情報に関する権利」があります。
- 4 患者様は、「尊厳性の権利」があります。
- 5 患者様は、「安全が確保される権利」があります。

患者様の義務

- 1 患者様は、ご自身の健康に関する情報を提供する義務があります。
- 2 患者様は、病院のルールを守り、医療に参加する義務があります。
- 3 患者様は、他の患者様の医療を妨害しない義務があります。
- 4 患者様は、医療費を支払う義務があります。

編集後記

コロナウイルスもまだ収束しませんが、マスク着用・手指消毒など感染対策はまだ継続しています。各自感染対策に努めましょう。また災害対策・災害備品等もチェックし忘れないように確認しておきましょう。今回早蕨の原稿にご協力頂きありがとうございます。